

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

令和8年度 原子力災害対策事業費補助金（原子力災害医療実効性確保事業）

第1回原子力災害医療中核人材研修（QST）募集要項

本研修は、令和8年度原子力災害対策事業費補助金（原子力災害医療実効性確保事業）（以下、「補助金事業」という。）の一環として、量子科学技術研究開発機構（以下、「QST」という。）が対面形式で開催する「原子力災害医療中核人材研修（QST）」です。



患者受入れ実習



実習「放射線測定器の取り扱い」

現在原子力災害医療に関する研修は、基礎、専門、高度専門へとステップアップする新研修体系のもと開催いたします。

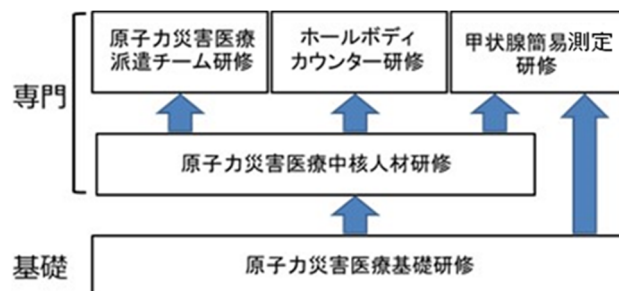


図. 新研修体系（基礎及び専門研修）

1. 目的

「原子力災害拠点病院」は、災害拠点病院であることを要件として指定されることとなり、24 時間緊急対応し、災害発生時に被災地の傷病者などの受入れを行う事が可能な体制が求められています。

本研修は原子炉施設などが立地する道府県などにおいて、原子力災害が起きた際にも医療拠点となる病院として機能できるように、放射線による被ばくや放射性物質による汚染を含む被災者の受入れ対応などについて高度・専門的な知識と技能を習得し、中心的役割を担える人材の養成を目的とする専門的な教育研修です。

※「原子力災害拠点病院」の指定要件については、「原子力災害拠点病院等の役割及び指定要件」（令和 7 年 10 月原子力規制委員会決定、以下「指定要件」という）を参照してください。

2. 対象者

以下（ア）または（イ）の対象機関に所属する医師、看護師、診療放射線技師などのうち、

（１）～（３）のいずれかの受講資格を有する方

—対象機関—

（ア）原子力災害拠点病院、またはその候補となる病院

（イ）指定要件に記載された「原子力災害医療協力機関に求められる機能（7 項目）」のうち、原則として「A：被ばく傷病者等の初期診療及び救急診療を行えること。」または、

「C：「原子力災害医療派遣チーム」を保有し、その派遣体制があること。」に該当する

原子力災害医療協力機関

—受講資格—

（１）令和 3 年 4 月以降開催の原子力災害医療中核人材研修、原子力災害医療中核人材技

能維持研修のいずれかを修了しており、且つ当該研修の修了資格が有効期限内^{*注 1, 2}の方。

(2) 令和 5 年 4 月以降開催の原子力災害医療基礎研修を修了している方。

(3) 新たに本研修の受講資格を得るために、これから原子力災害医療基礎研修を受講する方で、令和 8 年 5 月 22 日（金）までに道府県や拠点病院などが開催する原子力災害医療基礎研修^{*注 3}を修了できる方。

^{*注 1} 中核人材研修の有効資格期限の考え方については、原子力災害医療研修ホームページでご確認いただけます。<https://www.qst.go.jp/site/nirs/rem-training.html>

^{*注 2} 令和 2 年度以前の原子力災害医療基礎研修または原子力災害医療中核人材研修の修了では本研修の受講資格とはなりません。

^{*注 3} 道府県や拠点病院などが開催する原子力災害医療基礎研修の開催予定は、被ばく医療研修ポータルサイトで確認できます。

3. 募集人数及び研修日

募集人数 各 20 名

研修日 令和 8 年 6 月 9 日（火）～11 日（木）

原則 2 泊 3 日の宿泊研修

4. 実施場所

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川 4 丁目 9 番 1 号（最寄り駅 JR 稲毛駅）

量子科学技術研究開発機構 研修棟

アクセス <https://www.qst.go.jp/site/about-qst/1315.html>（QST ホームページ）

5. 研修内容

別記 プログラム（案） のとおり。

到達目標

- ・現場での除染処置がなく、汚染の程度が不明な患者でも受入れる事ができる。
- ・原子力災害拠点病院における医療チームの中心的メンバーとなる事ができる。
- ・被ばく・汚染した患者に関し、自身の病院で何が対応可能か、何を院外に依頼するかを判断できる。

カリキュラムの特徴

- ・複合災害、大規模災害などによる原子力発電所の事故も含め、原子力災害に伴う放射線事故を想定。
- ・想定問題を医療及び線量評価の面からグループ討議する机上演習。
- ・実際の被ばく医療施設を使用しての患者受入れ・除染処置等を含めた実習。

修了認定基準

- (1) 5つ以上の講義およびすべての実習と机上演習を受講すること。
- (2) ポストテストの正答率が 80%以上であること。これに満たない者には正答とその理由を適時解説したうえで、再テストを行う。

6. 受講料

無料。

本研修は原子力災害時の医療体制整備に資する為、補助金事業の一環として実施され、原子力災害時の医療拠点となる病院の中核人材など養成のための教育研修と位置付けられています。

7. 交通費・宿泊費について

- ・QST の旅費規程に従い交通費及び宿泊費を支給いたします。旅費支払いに関する情報、研修日程等受講に必要な諸事項を示した書類は、受講決定後にお知らせいたします。
- ・交通機関や宿泊施設のご予約については、送付された書類をよくご確認ください。

8. 申込要領

申込期間 令和8年4月10日（金）～5月6日（水）

申込方法

- ・被ばく医療研修ポータルサイトより申し込んで下さい。（「入力操作の手引き」参照）
- ・新規アカウント登録（個人情報入力）時に、「原子力災害医療に関する研修受講履歴」があれば忘れずにご記入ください。受講資格の判断材料となります。

ポータルサイト <https://retms.nirs.qst.go.jp/>



研修テキスト

- ・以下の URL からファイル形式を選んでダウンロードできます。

<https://www.qst.go.jp/site/nirs/nuclear-emergency-medicine-text.html>

9. 受講決定通知

- ・研修開始日の2週間前までに所属長及び本人宛の結果をメールで通知します。応募者多数の場合には受講者数を調整させて頂く事があります（受講決定は先着順ではありません）。受講決定通知が届かない場合は問合せ先までご連絡ください。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大などの事情によっては研修の中止、中断があることもご理解のほどお願いいたします。
- ・受講決定後でも社会通念上相当とする理由がある場合は研修の取りやめ、受講決定取り消し、受講辞退受付の場合があります。

問合せ先

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構（QST）
放射線医学研究所 原子力防災推進部人材育成・研修課
TEL: 043 (206) 3122

E-mail : hibaku-training@qst.go.jp

個人情報の取り扱いについて

申込に際してご記入いただきました氏名、住所、口座番号などの個人情報は当機構の個人情報保護規程に基づき厳重に取り扱い、原子力災害対策指針に基づく原子力災害時における医療体制などの整備に向け、本研修の受講記録として管理・保管すること及び、下記の利用目的以外では一切使用いたしません。

- ① 原子力施設立地・隣接道府県、原子力規制庁、高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センターからの受講記録照会のため
- ② 受講者への連絡のため
- ③ 講師への情報提供のため
- ④ 研修終了後のフォローアップのため
- ⑤ その他研修業務の遂行のため

※被ばく医療研修ポータルサイトのサイトポリシーもご参照ください

令和8年度 第1回中核人材研修 プログラム

令和8年 6月9日（火）～6月11日（木）

1日目

開始	終了	時間	会場	項目
9:00	9:15	0:15	講義室2	開講式／自己紹介
9:15	9:35	0:20	講義室2	プレテスト
9:35	10:05	0:30	講義室2	講義1 医療機関の原子力災害対策
10:05	10:35	0:30	講義室2	講義2 医療機関での初期対応
10:35	10:40	0:05		休憩
10:40	11:10	0:30	講義室2	講義3 放射線障害の診断と治療
11:10	11:50	0:40	講義室2	講義4 外部被ばくと内部被ばくの線量評価
11:50	12:50	1:00		昼食
12:50	14:50	2:00	実習室3	実習1 放射線測定器の取り扱い
14:50	15:00	0:10		移動
15:00	15:30	0:30	講義室2	講義5 放射線管理要員の役割
15:30	16:00	0:30	講義室2	講義6 原子力災害事例
16:00	16:05	0:05		休憩
16:05	16:35	0:30	講義室2	講義7 原子力災害時のメンタルヘルス
16:35	16:40	0:05		事務案内

2日目

開始	終了	時間	会場	項目
8:50	9:00	0:10	講義室2	ガイダンス／移動
9:00	9:40	0:40	L-209	実習4 養生
9:40	9:50	0:10		移動
9:50	10:30	0:40	3研会議室	実習3 防護装備着脱
10:30	10:40	0:10		移動
10:40	11:20	0:40	L-210	実習6 傷病者の汚染検査
11:20	11:30	0:10		移動
11:30	12:10	0:40	トリアージ室	実習5 除染
12:10	13:00	0:50		昼食
13:00	13:40	0:40	線量評価棟	実習2 ホールボディカウンターによる計測
13:40	13:50	0:10		移動
13:50	16:50	3:00	講義室3	机上演習
16:50	17:00	0:10	講義室3	被ばく医療役割分担等

3日目

開始	終了	時間	会場	項目
8:50	9:00	0:10	講義室2	ガイダンス／移動
9:00	12:10	3:10	トリアージ室	実習7 被ばく医療
12:10	12:20	0:10		移動
12:20	12:40	0:20	講義室2	ポストテスト
12:40	13:00	0:20	講義室2	総合討論
13:00	13:10	0:10	講義室2	閉講式

注1) プログラムは随時見直されていますので、若干の変更があることをお含みおきください。
 注2) 実習は予定時間より延びることがありますので、あらかじめご承知おきください。

令和8年度原子力災害医療中核人材研修・中核人材技能維持研修

開催スケジュール（令和8年4月1日現在）

開催機関	回	開催日	問い合わせ先
弘前大	調整中	調整中	弘前大学 放射線安全総合支援センター メール：crss-jimu@hirosaki-u.ac.jp 電話：0172-39-5474
福島県立医大	1	7/23(木)-24(金)	福島県立医科大学 災害医療部 メール：saigai@fmu.ac.jp 電話：024-547-1541
	2	12/11(金)-12(土)	
	技能維持 1	7/25(土)	
	技能維持 2	12/10(木)	
QST	1	6/9(火)-11(木)	量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所 原子力防災推進部 人材育成・研修課 メール：hibaku-training@qst.go.jp 電話：043-206-4176
	2	7/7(火)-9(木)	
	3	10/6(火)-8(木)	
	4	11/4(水)-6(金)	
	5	12/9(水)-11(金)	
	6	1/18(月)-20(水)	
	技能維持 1	5/19(火)-20(水)	
	技能維持 2	2/9(火)-10(水)	
福井大学	1	7/17(金)-18(土)	福井大学医学部附属病院 高度被ばく医療支援センター メール：hibakusien@ml.u-fukui.ac.jp 電話：0776-61-8753
	2	10/2(金)-3(土)	
	技能維持	11/8(日)	
広島大学	1	6/8(月)-10(水)	広島大学 放射線災害医療総合支援センター メール： iryo-hibaku-jimu@office.hiroshima-u.ac.jp 電話：082-257-5411
	2	9/7(月)-9(水)	
	3	12/7(月)-9(水)	
	4	1/18(月)-20(水)	
	技能維持 1	7/27(月)-28(火)	
	技能維持 2	2/8(月)-9(火)	
長崎大学	1	7/31(金)-8/2(日)	長崎大学 原子力災害対策戦略本部 メール：ner@ml.nagasaki-u.ac.jp 電話：095-819-8536
	2	12/4(金)-6(日)	
	技能維持	1/22(金)-23(土)	

※開催スケジュールは今後変更になる可能性があります。

※「回」欄が、数字のみは中核人材研修。「技能維持」は中核人材技能維持研修。